

鳥居龍蔵セミナー

令和5年度

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

令和5年

1

5/28
[日]

鳥居龍蔵の調査・研究を支えた人々

2

6/11
[日]

鳥居龍蔵、青年期の挑戦
—台湾学術探検を検証する—

3

7/30
[日]

鳥居龍蔵の妻・きみ子について

4

9/3
[日]

台湾人類学の先駆者・伊能嘉矩と
鳥居龍蔵

5

10/29
[日]

鳥居龍蔵の著述が持つ史料としての可能性
—中国西南部の調査を事例として—

6

12/3
[日]

鳥居龍蔵の日本人種論と
被差別民への眼差し



先着順受付
参加
無料

場 所 文化の森 イベントホール

※第1回のみ 文化の森 多目的活動室

開催時間 13:30～15:00 (受付時間 13:00～13:30)

定 員 先着 100名

お問い合わせ

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山

TEL 088-668-2544 / FAX 088-668-7197

<https://torii-museum.bunmori.tokushima.jp>



鳥居龍蔵セミナー

徳島出身の人類学・民族学・考古学の研究者である鳥居龍蔵（1870-1953）の学説や調査活動などを、当館の学芸員らがそれぞれのテーマに沿って、わかりやすくお話しします。

1 2023年5月28日[日] 13:30～15:00

鳥居龍蔵の調査・研究を支えた人々

【講師】下田 順一（鳥居龍蔵記念博物館）

鳥居龍蔵は、多くの人々と繋がることによって、彼自身の調査・研究を進めることができました。その繋がりは、地元・徳島から始まり、国内外に広がっていきました。鳥居とこれらの人々との交流について、お話しします。

2 2023年6月11日[日] 13:30～15:00

鳥居龍蔵、青年期の挑戦
—台湾学術探検を検証する—

【講師】石井 伸夫（鳥居龍蔵記念博物館）

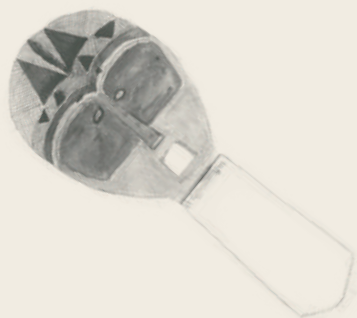
鳥居龍蔵が青年期に実施した台湾調査は、人類学では世界的にも早期にあたる写真撮影や、先住民族の集落でのフィールドワークなど「学術探検」的な様相を示します。その調査の詳細について、国内外の資料を用いて紹介します。

3 2023年7月30日[日] 13:30～15:00

鳥居龍蔵の妻・きみ子について

【講師】小林 篤正（鳥居龍蔵記念博物館）

鳥居龍蔵が人類学者として多くの業績を残すことができた背景には、マネージャーのような役割を果たした妻・きみ子の大きな存在がありました。きみ子に関する当館蔵の新出資料などから、きみ子の人物像や交友関係について、わかりやすくお話しします。



4 2023年9月3日[日] 13:30～15:00

台湾人類学の先駆者・伊能嘉矩^{いのうかのり}と鳥居龍蔵

【講師】松永 友和（鳥居龍蔵記念博物館）

岩手県遠野市出身の伊能嘉矩（1867-1925）は、明治・大正期の人類学者・民族学者として知られています。鳥居龍蔵とほぼ同時期に台湾を訪れ、その後10年にわたり、台湾先住民族の調査研究を行いました。伊能の生涯をたどるとともに、鳥居との関係について紹介します。

5 2023年10月29日[日] 13:30～15:00

鳥居龍蔵の著述が持つ史料としての可能性
—中国西南部の調査を事例として—

【講師】坂東 泰（鳥居龍蔵記念博物館）

鳥居龍蔵の著述^{ひもと}を繙くと、調査対象地の様子も多く記述されており、鳥居の著述を足掛りとして、彼の旅を支えた場ともいべき当時の現地社会に接近し得ることに気づきます。鳥居の著述が持つ、現地社会に関する史料としての可能性について、彼が中国西南部で行った調査を例に取り、考えてみたいと思います。

6 2023年12月3日[日] 13:30～15:00

鳥居龍蔵の日本人種論と被差別民への眼差し

【講師】関口 寛 氏（同志社大学 人文科学研究所）

1890年代以後、鳥居龍蔵は人類学的手法を用いて被差別民について調査・研究しました。彼は断続的にこれに取り組み、日本人種論の一環として生涯を通じて関心を持ち続けたことが窺われます。今日の視点からは大きな限界をもっていたことも含めてその内容を概観し、日本近代史のなかに位置付けて考察します。

